

魚にのみこまれたヨナ

ヨナ1章～4章

1. () に正しいことばを入れてね。
神さまはヨナに、「あの大きな町 (ニネベ ・ タルシシュ) に行け」と言われた。しかしヨナは、船に乗って (戦おう ・ 逃げよう) とした。その時、海に激しい暴風が起こり、船が (難破 ・ 世界一周) しそうになった。それがヨナのせいだとわかった時、人々はヨナをかかえて (胴上げした ・ 海に投げ込んだ) 。すると、海は激しい怒りをやめて静かになった。主は大きな (タコ ・ 魚) をそなえて、ヨナをのみこませた。

2. ヨナは魚のお腹の中で何をしましたか？



3. ヨナが何の苦勞もせず得た1本のとうごまを惜しんで怒りました。そのとき、神さまがヨナに教えたことは何ですか？ (10～11節)

4. ヨナのお話から、神さまのご性質について、どんなことがわかりますか？
正しいと思うもの3つに○をしてね。

神さまは・・・

- () 人間を見張っていて、悪いことをする人を、すぐに滅ぼしてしまう
- () 人間を見守っていて、罪を悔い改めるまで、かなり忍耐してくださる
- () 悪者がどんなに悔い改めても赦さないけど、立派な人を愛してくださる
- () どんな悪者でも差別せず、みんなを救いたいと願ってくださる
- () ヨナのように一度逃げ出したり失敗した人を、見捨ててしまう厳しいお方
- () 大きな魚をあやつったり、植物を1日で大きくしたりできる
- () 大きいから、ちっぽけな人間の命のことなんて、なんとも思わない